

産業建設常任委員会 3月10日

アルカディア財団の経営は大丈夫か

財団戦略推進プラン及び職員研修計画の策定状況について説明を受けた。

【概要】

2月22日開催の協議会を経て（P17参照）、財団に向き現地調査を行なった。

質疑

※分散型か※一体型か

【委員】策定検討委員会の中で、分散型かどうか意見はなかったのか
【当局】全員から一体型というご意見をいただいた。

【委員】町民目線からすると近い方が良いという声もあり、冬期間は危険という意見もある。また、人口減少に伴い経営は大丈夫か。

【当局】冬期間については、経験値もあるので滑り止めをするなど

先々の対応をし、バスを利用していただくなどして誘客に努めていく。

※分散型…パークゴルフ場、テニス場等はそのまま管理し、現在のパレス松風を全く別の場所に移し経営する考え方。
※一体型…現在のパレス松風を、規模を縮小し、周辺の施設と一体的に経営する考え方。

経営悪化の影響は

【委員】計画案のなかで、経営が著しく悪化した

場合は、周辺に深刻な影響を及ぼすとあるが、

どういった方面にどのような影響があるのか
【当局】燃料、食料などを納品している方々などである。

町民アンケートを

【委員】町民に育ててもらう施設にするなら、全町民にアンケートを取る必要があるのではないか。

【財団】委員の意見も踏まえて、町民の方から良かったと言っていただけの施設にしていかなければならない。



1億円の出捐金支出は

【委員】1億円の出捐金を来年度予算に計上しているが、状況について従業員に詳しく説明しているか。

【財団】経営についての厳しい状況は、各種会議等で逐次説明し、職員にも伝えている。

【委員】1億円は町民の税金であるとの指摘もあるが、研修を待たずに今すぐできることもある。早急な改善を望むがどうか。

【財団】職員のスキルアップが末端にまで行

き届いていなかったという反省もある。研修計画もでき、お客様に喜んでいただけたようにしていきたい。

経営責任は

【委員】財団設立当初、白鷹町のほかに、農協・商工会・森林組合が出捐してきた経緯があるが、今回はないのか。
【当局】一般財団法人に移行したためお願いしなかった。

【委員】公益的事業を担っていることは理解できるが、「収益的事業も行っている財団に対し、多額の支援をするのか」との町民の声が多く聞かれる。そのことに対する納得のいく説明は。

【当局】一般財団法人は、法律上純資産額が2年連続で300万円を下回ると解散となる。今回の支援は財団を存続させるためのものであり、今後も町民

